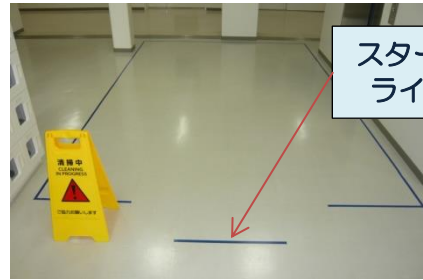


3 自在ぼうき

(1) 手順

- 手順①：資機材準備
- 手順②：自在ぼうきを正しく持って構える
- 手順③：床を掃いてゴミを集める
- 手順④：ゴミを文化ちりとりで取る
- 手順⑤：点検
- 手順⑥：報告



検定はPタイルやビニールシートの床におがくずをまいて行います。

(2) 自在ぼうきの約束

約束①：掃いた後しか歩かない(ゴミの上を歩かない)。

約束②：ほうきは最初から最後まで同じ面で掃く。

(3) 用意するもの



ほうきは用途に応じて何種類かを使い分けなくてはなりません。本検定のように室内を清掃するためには、自在ぼうきを使用します。自在ぼうきにも3種類あり、幅の狭いものは階段用、赤いシールが付いているものはトイレ用として使い分けます。ここでは青のシールが付いているものをフロア用自在ぼうきとして床の除塵(ごみを取ることを)行います。

各ほうきの用途を覚えておきましょう。

(4) 作業の流れ

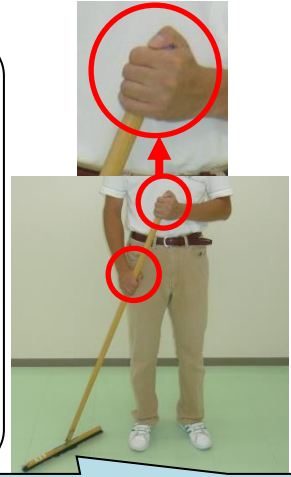
- 手順①：資機材準備



まず作業表示板をコートの出入口付近に立ててから、フロア用の自在ぼうきと文化ちりとりを選びます。文化ちりとりは出入口の脇のところに、出入口にかからないように裏返して置き、自在ぼうきだけを持ってスタートラインに立ちます。

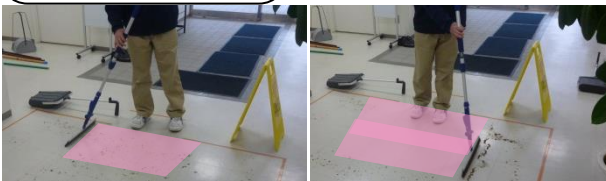
手順②：自在ぼうきを正しく持って構える

自在ぼうきは左右どちらでも扱えるようにならないといけません
が、基本として**左手が上、右手が下**の形を練習しましょう。初めに、**ハンドルをあごの下の高さで調節**します。次に**ぼうきの向き(シールの位置など)を確認**します。掃き続けていく面は常に同じでなければいけないので、どちらの面で掃き始めたかを忘れないようにしましょう。掃くときは、**左手の親指でハンドルの先端を押さえ**ます。これは作業中にお客様や窓などにハンドルが当たってケガをさせたり壊してしまったりしないようにするための**必ず押さえ**ます。



手順③：床を掃いてゴミを集める

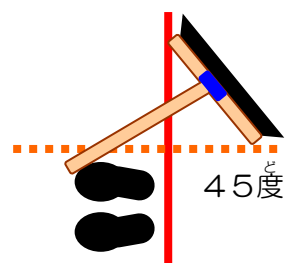
出入口



自在ぼうきの約束は「**掃いた後しか歩かない**」です。いきなりコート内に入らずに、**コートの外から自分が歩く場所を右から左へ3～4列ほど掃きながら**からコートに入ります。

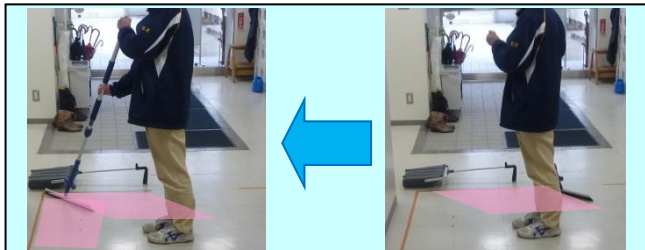
壁際

自在ぼうきは**自分の右側に**、図のように**斜め45度**にして、**かかとのラインより後ろにかま**えます。足はそろえて真つすぐに立ちます。ぼうきの**掃く面が変わらないように確認**します。



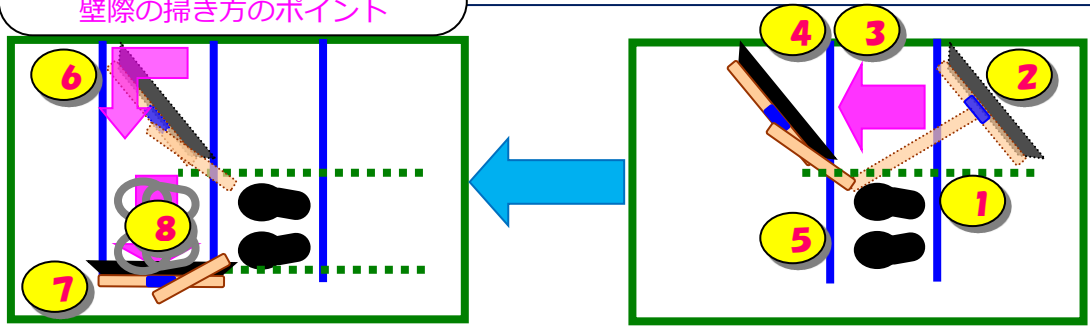
おさえばき

自在ぼうきは、ほこりを巻き上げないように、**毛先が軽くしなる程度の力で床に押し付けながら丁寧に操作**します。これを「**おさえばき**」と言います。おさえばきで**左足の外側まで掃いたらトントンと床に毛先をたたきつけ、ゴミを落とします**。トントンは自在ぼうきを**1回操作するたび**に行います。



コート内に入り、**右回り**で除塵を進めていきます。自在ぼうきの角度を**45度**で保つたまま、**つま先より前まで押し出**します。このとき**毛先が壁(ライン)から離れない**ように注意しましょう。次に**つま先より前に出した自在ぼうきを、真横に動か**します。掃いた跡が**直角**になるように注意します。手首はできるだけ動かさず、**右腕を動かして操作**します。つま先の前を掃くときには、**左手を前に出さない**ようにし、自在ぼうきの横木が毛先より先に進むように動かします(押し掃きにならないようにします)。**おさえばき**で進みますが、**掃いているときは歩かない**ようにします。

壁際の掃き方のポイント



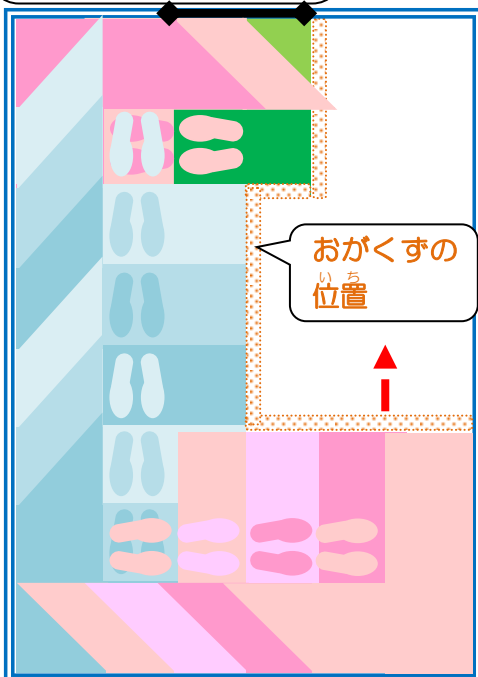
- ① かかとより後ろから
- ② 斜め45度
- ③ 45度のまま
- ④ 壁からはなれない
- ⑤ つま先より前
- ⑥ 直角になるように
- ⑦ 左足の左側でトントン
- ⑧ 一歩前に進む

隅



角まで隙間なく掃き進んだら、向きを変えて同じように掃いていきましょう。

ゴミを集めながら前進

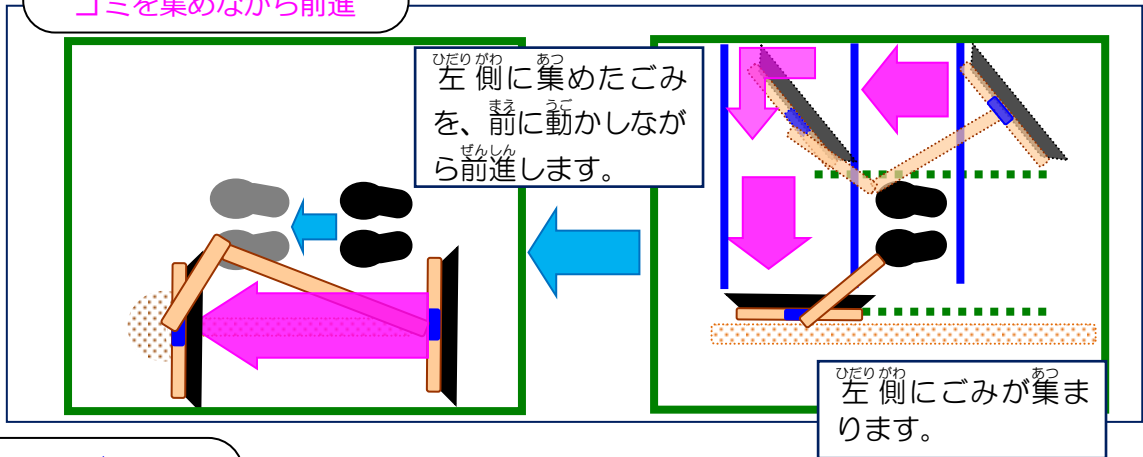


左の図のように掃き進んできたなら、出入口の方へ向かって、今までと同じように2~3回掃きます。ほうきを自分の体の右側(右手が下、左手が上)から左側に持ち替え(右手が上、左手が下)、後方のゴミを前方へと掃き出します。その際も掃き始めと同じ面で掃くように気を付けましょう。

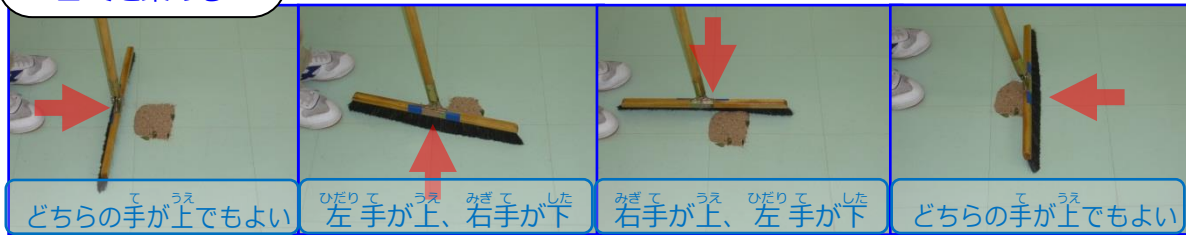


出入口のところまで除塵したら、ゴミを小さくまとめます。このときも自在ほうきの向きや持ち方に注意し、トントンも忘れずに行います。

ゴミを集めながら前進



ゴミを集める



掃き始めから最後まで常に同じ面で掃くように、ほうきの向きにはいつも注意が必要です。ほうきの向きを変えるときはゴミを移動させる方向によって手の持ち替えをします。持ち替えをしたときに、上の手は必ずほうきのハンドルの先端を親指で押さえます。

手順④：ゴミを文化ちりとりで取る



真ん中にゴミを集めたら、文化ちりとりを用意します。自在ほうきは持ち方を変え、右手でハンドルの真ん中辺りを持ち、ハンドルの先端は脇に抱え、左手に文化ちりとりを持ちます。ちりとりの後方に立ち、ほうきの毛先の前半分をちりとりの中に入れるようにゴミを取ります。毛先全体をちりとりにぶつけるとゴミが両脇からこぼれてしまいます。

手順⑤：点検

ゴミを取り終わったら、もう一度ゴミが残っていないか確認しましょう。壁際や、ちりとりを使ったところはゴミが残りやすいので特に注意深く点検し、取り残しがあったら速やかに取り除きましょう。

手順⑥：報告

全ての工程が終了したら、資機材を元の場所に戻します。スタートラインに立って姿勢を正し、はっきりした声で報告をしましょう。